

連絡先：自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室

TEL 03-5253-8111 内線 42353

アドレス：http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成19年11月29日

リコール届出番号	2010	リコール開始日	平成19年11月30日	
届出者の氏名又は名称	マツダ株式会社 代表取締役社長 井巻 久一 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>問い合わせ先：マツダ（株）コールセンター TEL 0120-386-919</td> </tr> </table>			問い合わせ先：マツダ（株）コールセンター TEL 0120-386-919
問い合わせ先：マツダ（株）コールセンター TEL 0120-386-919				
不具合の部位（部品名）	電気装置（電気配線）			
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	原動機制御用電気配線を保護するチューブの材質が不適切なため、当該電気配線が原動機のシリンダヘッドカバーとエアクリーナーに挟まれて配索された場合に、ヘッドカバーの含有成分と熱の影響で当該チューブの強度が低下するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該チューブが摩滅し、最悪の場合、電気配線が損傷して短絡し、原動機が停止して再始動できなくなるおそれがある。			
改善措置の内容	全車両、電気配線を点検し、当該チューブに損傷のないものは①の処置を行う。当該チューブにのみ損傷があるものは①及び②の処置を行う。当該チューブ及び電気配線に損傷があるものは①、②及び③の処置を行う。 ①当該チューブにラバープロテクタを巻いて、バンドクリップでシリンダーヘッドに固定する。 ②当該チューブを対策品と交換する。 ③電気配線を補修する。			
不具合件数	10件	事故の有無	無し	
発見の動機	市場からの情報による。			
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメール等で通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアストライカー付近に No. 2010 のステッカーを貼付する。 			

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
マツダ	UA-BK5P DBA-BK5P	アクセラ	BK5P-100026～BK5P-308688 平成15年9月2日～平成18年12月18日	46,126	
	(計2型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成15年9月2日～平成18年12月18日	(計46,126台)	

【注意事項】リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。